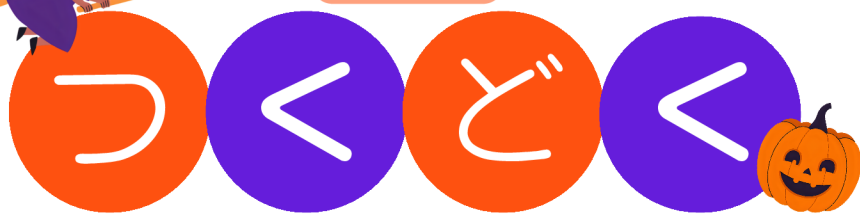




佃で読む



2025
10月

令和7年10月1日発行 第5号
学校配置司書 久保田浩一

厳しかった残暑も落ち着き、いよいよ秋本番。秋といえば「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」「読書の秋」など、いろいろな楽しみ方がある季節ですね。そんな秋にこそ、本を通して新しい世界にふれてみませんか。ふだん読まないジャンルの本を開いてみると、意外な発見や、自分の新しい興味に出会えることもあります。



今月の特集：ノーベル賞に関する本を紹介します

ノーベル賞は、ダイナマイトの発明者である、アルフレッド・ノーベルの遺言によって創設され、「物理学」「化学」「生理学・医学」「文学」「平和」「経済学」の分野で人類に大きな貢献をした人に贈られている賞です。毎年各賞最大3名まで、10月に発表されています。



『ノーベル賞100年のあゆみ』 戒崎俊一/監修 ポプラ社 37
20世紀の歴史はノーベル賞の歴史でもあります。ノーベル賞とその受賞者たちの業績から20世紀という時代を見わたしましょう。(TRC MARCより)
1 ノーベル賞とはなにか 2 ノーベル物理学賞 3 ノーベル化学賞
4 ノーベル生理学・医学賞 5 ノーベル平和賞
6 ノーベル文学賞と経済学賞 7 ノーベル賞を受賞した日本人



『挑戦 常識のブレーキをはずせ』 山中伸弥 藤井聡太/著 講談社 289
まだ誰も見たことのない景色を見るために-。年齢も活躍する分野も大きく異なるノーベル賞受賞研究者と若き天才棋士が、勝負のあり方から若返りの可能性、人工知能の未来、人間の可能性までを語り合う。(TRC MARCより)
*山中伸弥氏は、2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞しています。



『クララとお日さま』 カズオ・イシグロ/著 土屋政雄/訳 早川書房 933

人工知能を搭載したロボットのクララは、病弱の少女ジョジーと出会い、やがて2人は友情を育んでいく。愛とは？ 知性とは？ 家族とは？ 生きることの意味を問う感動作。(TRC MARCより)

*カズオ・イシグロ氏は、日本生まれのイギリスの作家です。
2017年にノーベル文学賞を受賞しています。

お知らせ：オーストラリア関連本の展示をしています

中央区の姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市とは、毎年、中学生同士の相互ホームステイが行われています。図書館では「オーストラリア特集コーナー」を設けており、オーストラリアの地理や特産物が掲載されている本を展示しています。

